

# 富士見市中期基本計画市民検討会議会議録（第7回）

日時：平成25年5月27日(月)  
午後7時～9時25分  
場所：市長公室

## 出欠状況

委員長					
新井	岩田	加光	加藤	川上	齋木
○	○	○	○	○	○
関根	田尻	藤橋	南	横山	吉崎
○	○	欠	○	○	○
検討委員会委員等		自治振興部長			
事務局（政策企画課）		総合政策部長、課長、副課長、寶田			
傍聴者		なし			

## 内 容

### 1 開会 政策企画課長

### 2 委員長あいさつ

### 3 内容

#### （1）前期基本計画第6章の進捗状況・課題等の確認・検討

- ・資料に基づき、事務局から説明をした後、総合政策部長（以下、総政部長）、自治振興部長（以下、自振部長）から補足説明

#### ○ 意見等

##### <第1節 市民自治の推進>

委 員：タウンミーティングの参加者が少ないのではないかと。開催場所や曜日など検討の必要があるのではないかと。

総政部長：休日に開催するなどの工夫はしているが、参加者数は地域によってはっきり差が出る。地域コミュニティが弱い地域では参加者数が少ない。現在は市が地域にお願いして実施している状況なので、地域と協働で実施するなどの工夫をしていきたい。

委 員：テーマが大き過ぎて細かい議論ができていない気がする。

総政部長：分野が多岐にわたっているので、個別に入り過ぎると広く深くなってしまい、議論し切れなくなってしまう。それぞれの分野に個別の計画があるので、そちらに任せざるを得ない部分がある。

委員：市民意識調査結果で、「市民相談の充実」の不満な理由が、「相談の仕方がわからない」という回答が多い。

総政部長：理由を追求しないといけないと考えている。ただし、「必要性があるのにわからない」のか、「必要がないからわからない」のかまでを把握するのは難しい。

委員：1町会1集会所が理想だと思うが、現在、そういう状況になっていない。

自振部長：現在、市立集会所は30カ所ある。用地が確保できない等の理由により難しいと考えている。

委員：市の掲示板について、他自治体では、掲示板の面を8つに区切り、最大A3版の大きさに決めている。

自振部長：決まった大きさに限定しない方が使いやすいと考えている。大勢の方に利用していただけるよう、古いポスター・お知らせをはがしていただくことが必要である。

委員：富士見市の掲示板は、地の色が茶色と緑色のものがあり、ポスターを作製する際、どちらの色に合わせてデザインすればよいか難しいので、統一した方がよい。

自振部長：新しい掲示板は緑色になっている。

委員：町会の負担軽減について、具体的にはどんなことか。

自振部長：市からの配布物はまとめて依頼する等、配慮している。

委員：集会所のテーブルやいすの数が足りないので、町会に要望した。トイレはバリアフリーになり使いやすくなったが、まだまだ使いにくい部分もある。

自振部長：予算の範囲内で対応できる部分は対応していきたい。

委員：集会所の稼働率は市のホームページで調べられるか。可能であれば集会所を利用したい。

自振部長：稼働率は、協働推進課としては把握しているが、ホームページには掲載していない。集会所の管理は、町会にお願いしている。

委員：ホームページのアクセス数が増えたのはなぜか。

総政部長：ホームページ再構築後に件数が増えたので、見やすくなったことも要因と思われる。

委員：イベントカレンダーが使いにくい。それぞれの施設のカレンダーからたどっていかないと欲しい情報が得られない。もっと探しやすいようにしてほしい。

委員：現在のシステムを構築した際、そういった不便さが起こり得ることを想定していなかったのではないか。次のリニューアル時にはよくなるのではないか。機会があれば、予算をかけずに便利にできる方法を提案したい。

## <第2節 計画的な総合行政の推進>

委員：まちづくり協議会で活動している。自分たちのことは自分たちで進めていこうと考え活動しているが、それほど多くない経験の中でしか考えられないので、なかなかいいアイデアが出ない。市役所でSNS(ソーシャルネットワークサービス)を使って情報収集を行っているか。また、こういった方向に拡大していこうとしているか。公民館でも利用できるようにしていただきたい。

総政部長：現在、富士見市では、ツイッターには取り組んでいるがフェイスブックまでにはいたっておらず、検討中である。市としてフェイスブックに取り組めば、公民館でも利用できるようになる。

委員：ツイッターもフェイスブックも、一方的に情報を発信するためのツールにとどまっている。企業の場合もそうだが、「こういう情報を寄せてください」という使われ方はあまりされておらず、意見のやり取りはない。それを始めると、安易な陳情の場になってしまう恐れがあるので、慎重に考えなければならないと思う。

委員：役所としては、そうしたリスクを考えると、意見のやり取りを行うのは難しいと思う。子どもフェスティバルは市民の集まりである実行委員会形式の実施だったので、公民館に許可を得た上で、実行委員会としてのフェイスブックページを作り情報を発信した。

委員：フェイスブックの取組みは、情報の収集にメリットがあると思う。積極的に取り組んで欲しい。

委員：職員の人数を減らせたのはなぜか。

総政部長：指定管理、業務委託など民間活力の活用等によるものである。非常勤嘱託職員の雇用や再任用制度等も行っている。

委員：女性管理職の比率を高めるよう、職員の採用を多くした方がよいのではないか。

総政部長：男女ほぼ同じ比率で採用している。

委員：民間保育園の件で、待機児童ゼロということだが、潜在的な待機はある。大型商業施設が開業する影響も考えられる。

### <第3節 健全な財政運営>

委員：コンビニエンスストアで市税等の納付ができるようになったが、コンビニに支払う手数料等のコスト等を考えて継続していけるのか。

総政部長：多様な収納方法を準備しておくことが市民サービスとして重要であると考えている。コンビニ収納を始めてから、軽自動車税の収納率は上がっている。

委員：広報紙における予算の報告の際、歳入・歳出の表記が億円単位になっているが、千万円単位の方がよい。

委員：前年度の決算報告が広報12月号に掲載されるのは遅くないか。

総政部長：9月議会で承認後、発表している。

委員：民生費の割合が非常に多い。

総政部長：民生費が多いということは、それらの事業が充実しているともいえる。全体のバランスをみるのが重要であると考えている。

### <第4節 広域行政の推進>

委員：8月に消防本部の新庁舎ができる。大災害が起こった際の地域の新しい防災拠点として大きなメリットがある。災害時の通信システムについて、双方向連絡ができるシステムを構築できれば大きな力になると思う。

総政部長：システム更新に併せて検討したが実現できなかった。

(2) 次回以降の会議日程について

7月中に3回 午後7時00分 市長公室

4 閉会